

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和4年度第2回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	令和4年8月5日（金）
開 催 場 所	書面開催
出 席 者 （敬称略）	出席者：諸橋 泰樹、南 葉子、堀上 みち子、森本 秀子、鈴木 友理、市川 真子、椎野 芳挙、原田 夏果、中村 貴代、大槻 紗笑
議 題	議題1 第1回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会会議録について 議題2 武蔵村山市第四次男女共同参画計画 令和3年度推進状況調査報告書（案）について
結 論	議題1：第1回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会会議録について 加筆・修正なし。 議題2：武蔵村山市第四次男女共同参画計画 令和3年度推進状況調査報告書（案）について 加筆・修正なし。
備 考	
審 議 経 過 (発信者) ●印：委員 □印：事務局	<p>議題1 第1回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会会議録について</p> <p><input type="checkbox"/> 資料を参照のうえ、御意見をお伝えいただきたい。 ※内容に対する意見なし</p> <p>●アンケートやイベントを通して性的マイノリティは身近な問題であるということが幅広い層に広まっていくと良いなと感じました。 会議記録を読み返し、思う事の意見の対話出来るのは大変素晴らしいと思いました。中でも後半のご意見にあった「固定観念」からの、後ろ向きでなくもっと開き直った自分の得意な事をすればいいとのご意見には、本当にそう出来たらと素直に思いました。世間皆様とも同様に、具体的に話し合える環境であったなら、男女共同などと声が上がらないのにと、モドカシさを感じましたし、日本人らしい風潮や人に合わせてリーダーを立て、同意して波風立てずやりすごす環境もあったり、「右手」を右手と理解するのに時間掛かる人や、左手、腕と答えたり、中には答えず怒る方もいたり、グレーゾーンの方や、障害を抱えてる方では、話し合いに理解し難く強い言葉や反抗態度の人もいたり、やはり時間も準備も必要なのでは…と、情報の取り扱い、発信方法と色々大変難しいと改めて思いました。</p> <p>議題2 武蔵村山市第四次男女共同参画計画 令和3年度推進状況調査報告書（案）について</p> <p><input type="checkbox"/> 資料を参照のうえ、御意見をお伝えいただきたい。 ※内容に対する意見なし</p> <p>●拝見いたしまして、沢山の案件の中から以下2件、リアルタイムに世間で喧かれ注目されたTwitterから感じた思う事を意見させていただきます。</p> <p>・ジェンダー平等について 声が多く集まる注目 SNS コメントは目に留まるよう画面表示されるのですが、学生の制服に視点が当てられるのが多くありました。中でも、校長先生の「我校の制服全てを男女関係なく好きな組み合わせで着用させるには、どう動いたらいいか」という内容の発言に、教師が結果を楽しみにしている。という喧きに沢山のイイネがあったり、「女子はスラックス OK なのに対して男子のスカート認めない風潮に違和感しかない、男子でも着やすい制服を作ってみた」に一万以上のイイネ等がありました。</p>

また他に、似た事案では、チャリティーイベントについて「障害のある子をもっと当たり前で社会で生活してほしい、『必要な支援が分からなくていい、そう言う子もいるよね』と柔らかく受け入れる社会の土壌が欲しい」との呟きも目に留まりました。柔らかく受け入れる社会、の一言が難しくも心に刺さったコメントでした。

当事者・関係者の方々などの「本音」を、手軽な SNS にて教えて頂く「見える化」で意見を見ながら対策に繋がれば良いなと感じました。荒れてしまうリスクもありますが。

- ・DV、モラハラについて

家庭内で隠に行われているので、表、公にならないと、なかなか動き辛い問題の家庭内暴力は、被害者の我慢が事を肥大・重大化させているように思いました。色々な状況の DV 被害があると思いますが、中では、声を挙げたくてもあげられない環境の方もいらっしゃる、被害者は早目に相談をとよく目にしますが実際には、保守がある方ほど、相談や脱出を諦めてしまう事もあります。

環境を変えたいが家族がいる、心配を掛けたくない人間関係がある、お金の心配、世間にバレたくない、など『今、自分さえ我慢（家族に我慢させれば）すればいつもの普通の生活に戻れる。』と内密にする方もいます。

また、注目したいのは精神的 DV のモラハラ被害者の方々に、身体的被害がない分、目視できない暴力なので、身近な人に話しても信じて貰えない「カサンドラ症候群」に陥りやすく孤独になってしまう、普通の家族に見られながらも家庭内での精神的暴力があるなど、カサンドラ症候群の方の声も、引き出して拾い易くしてあげる場や理解もあると良いと思いました。

逃げることも離婚することも出来ないなど、被害者は疲れ麻痺した心の状態なので、思考・判断力が衰えている分、心のケアも自発的に難しかったり、発信する機会も失いやすくなるので、時と場合を選ばず武蔵村山市内で検索した際、具体的な情報がハッキリ分かり易くあると早々に救われるのではと思いました。

正しく当事者や関係者の方々の伝えたい話、思考を沢山知ること、言葉選び、伝え方の方法、発信の形、発信後の情報収集など、まとめながら私も色々考えさせられました。

- 資料が細かく読みづらい（複数）
- 大変申し訳ございませんでした。今後、御不便をおかけすることがないように努めてまいります。

3 オンライン会議の開催の可否について

□7名の委員が、ZOOM で対応いただけることがわかりました。今後、委員長に御相談申し上げながら、会議の開催方法につきまして検討してまいります。

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 []
-------------	---

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等：)
--------------	---

庶務担当課	協働推進部 協働推進課 (内線： 242)
-------	------------------------

(日本工業規格A列4番)